



産直ニュース（農・畜・水産）31週号



生活クラブの産直材は、より美味しくより安心して頂ける様に生産者を指定しています。このため、天候・生育状況等によってはお届け週が予定変更になる場合や、緊急にお知らせが必要な場合もありますので、本ニュースで産地の状況をお知らせします。

生活クラブ関西

*よやく・る 果物類のお届けは下表をご参考にして下さい。

今後のお届け品スケジュール

単協 事業所	大阪				京都		奈良	滋賀
	茨木	豊能	香里	門真	平野	西	東	奈良 奈良
31週	桃(白桃系)(京奈滋)				ブルーベリー③		枝豆③	
	プルーン: 大阪の水木金				プルーン: 西東奈滋の火			
32週	桃(白桃系)(大阪)							
	プルーン: 大阪の火				枝豆④			
33週	お休み							
34週	よやく・るデラウェア①(!)							
	新しょうが(!)							
35週	よやく・るデラウェア②(!)							
	つがる(!)							

*(!)は調整の可能性有ります。

おしらせ 産地情報

■**デラウェア 400g(置賜興農舎)** ご迷惑をお掛けしますが、ご確認よろしくお願ひします。

低温により登熟が遅れており、お届け週を以下に変更させていただきます。

- ・31週カタログ 121番→32週に繰り下げてお届け。 ・32週カタログ 115番→34週に繰り下げてお届け。
- ・34週カタログ 114番 →予定通り 34週にお届け。

■**バランゴンバナナ 生産量は回復しました**

◇台風被害からの復旧活動

昨年12月の台風で深刻な被害を受けたネグロス島ですが、生協のカンパや現地 ATPI (オルタートレードフィリピン社) による支援により予想よりも早く収穫量の回復が見られます。



新たな苗の植え付けや肥料(支給された鶏糞)の投入では、パッキングセンターや流通スタッフなどが園地に出向き、作業を手伝った事、被害を受けてから早い段階で植え付けが広く進みました。

又、植え付け時期2~4月は乾季にあたりますが、今年は適度に降雨があり植え付けしたバナナは順調に生長しています。これから秋にかけては、日本の需要量を上回る出荷量が期待されるとの事です。

◆ネグロスからのメッセージ (マンティケル村 マリオ・モンソンさん)

日本の皆さん、バナナを継続して買ってくださり、ありがとうございます。私は生産者であり、地域の集荷も担っています。毎週のバナナからの収入は子どもを学校へ通わせるお金やお小遣い、肉や魚の購入に充てています。台風でバナナの出荷量が減ってしまいましたが、それでもバナナの回復に向けて生産者一同が一生懸命働いています。



*ネグロスツアーで訪問したマンティケル村も生産量回復に向けて頑張っています!!